

## 自立活動の改善・充実の方向性

### 教科等の学習

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
何を知っているか 何ができるか	知っていること・できること等をどう使うか	どのように世界・社会と関わり、よりよい人生を送るか

### 教科等の学習を下支えする自立活動

**自立活動の目標** 自立を目指し、個々の児童生徒の障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う

健康の  
保持

心理的  
な安定

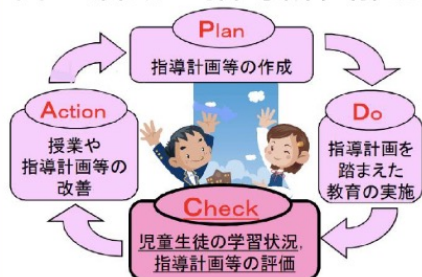
人間関  
係の形  
成

環境の  
把握

身体  
の動き

コミュ  
ニケー  
ション

### 自立活動の指導計画推進のプロセスと 充実を図るポイント



実態把握、  
指導目標の設定、  
項目の選定、  
具体的な指導内容を設定

主体的に改善・克服  
しようとする取組

多様な方法で評価

参考：[幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第197号）](#)

## 特別支援教育におけるICT活用の視点

### 教科等の学習

**視点1** 教科等又は教科等横断的な視点に立った資質・能力を育成する

**教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりするために、ICTを活用する**

### 教科等の学習を下支えする自立活動

**視点2** 個々の実態等に応じた自立活動の視点

**障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服するために、ICTを活用する**

参考：[各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料（文部科学省、令和2年9月）](#)

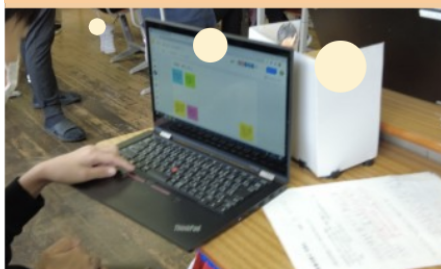
- 見方・考え方：形（ポーズ）、色、全体のイメージを視点とし、自分が感じたイメージをもちながら、意味や価値をつくりだすこと
- 学習場面：作品にこめられた思いや願い、表現の工夫や面白さを感じ取り、互いの作品の良さを伝え合う
- ICT活用 視点1：クラウド活用により瞬時に相互参照して感想を伝え合い、互いの作品や思いを共有する（教科等の学習）
- ICT活用 視点2：文字で書いて伝えることの困難さを軽減し、表出を促す（自立活動）

粘土や身の回りの材料を使って表した作品について造形的な視点を明確にして互いに鑑賞する。

### 子供の様子

### 「ICT活用 視点2」のポイント

友だちの伝え方に触れる



友だちの書き方を参考にして書けばいいんだな。友だちは何についてどう書いているのかな。

「何を」「どのように」書いたらよいか、**必要に応じて自ら**参考となる情報へ瞬時にアクセスできる。

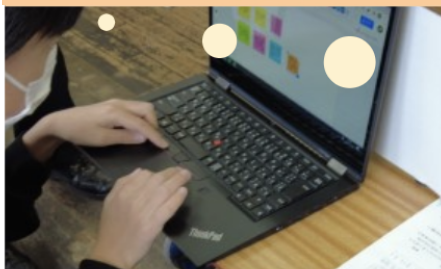
友だちの作品のよさを伝える



文字で書くことは大変だけれど、タブレットへの入力なら速く書けるし、漢字の候補を示してくれる。

タブレット入力に慣れつつあることを伸びてきている力と捉え、**長所やよさを生かして**活動している。

友だちからの感想を読む



友だちからたくさん感想をもらえたので、自分の作品の良さが伝えられたと実感！うれしい。

**成就感や達成感を味わえる**機会が得られやすい。そのため、**学習意欲の高まり**も期待できる。

### この事例のポイント

- ・ ICT機器を用いることで、困難さを軽減、解消している。
- ・ 自立活動が下支えとなり、教科等の目標が達成されている。

